



SOMPOアセットマネジメント

安心・安全・健康のテーマパーク

償還交付運用報告書

SOMPOアルジェブリス・ グローバル金融株式ファンド (円ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

繰上償還

作成対象期間：2023年10月3日～2024年6月4日

最終期 償還日：2024年6月4日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SOMPOアルジェブリス・グローバル金融株式ファンド（円ヘッジなし）」は、信託約款の規定に基づき、2024年6月4日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、日本を含む世界の金融商品取引所に上場している金融機関の株式（DR（預託証券）等を含みます。）に分散投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指します。当期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につきお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



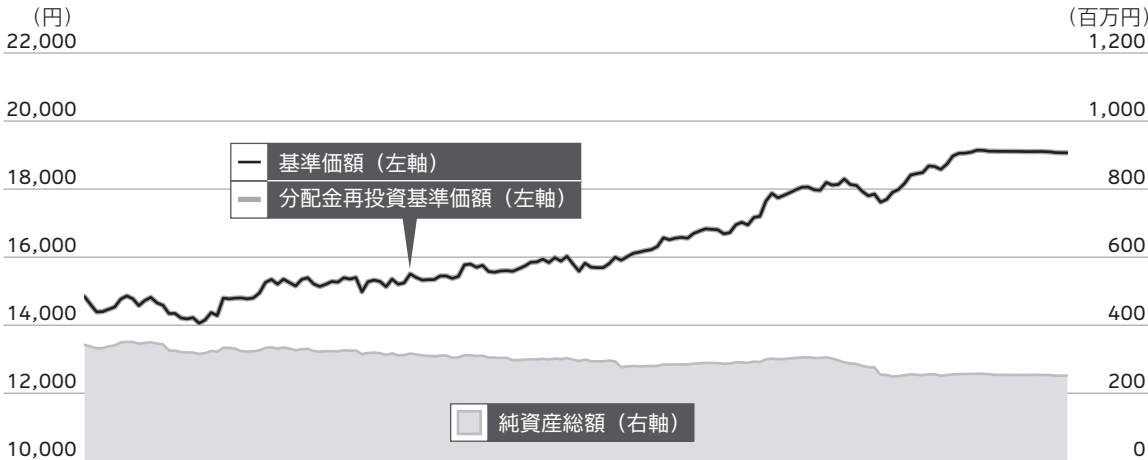
0120-69-5432

償還時 2024.6.4	
償還価額	19,065円58銭
純資産総額	251百万円
最終期 2023.10.3～2024.6.4	
騰落率※	28.5%
期中分配金合計	－円

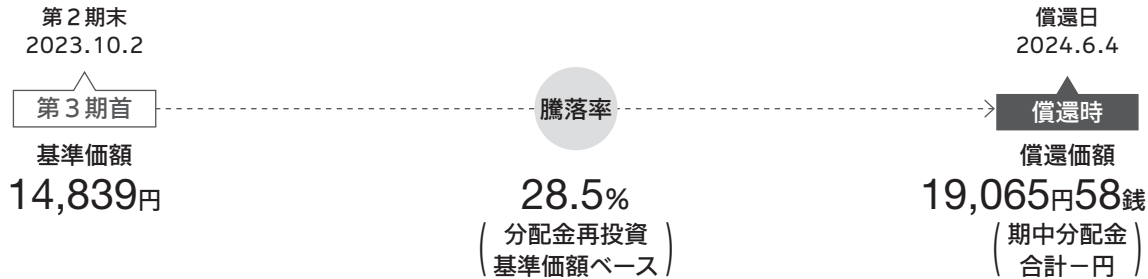
※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2023年10月2日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場している金融機関の株式（DR（預託証券）等を含みます。）に分散投資を行います。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

SOMPOアルジェブリス・グローバル金融株式ファンド（円ヘッジなし）

当期は、投資しているSOMPOアルジェブリス・グローバル金融株式マザーファンドが上昇したことにより、当ファンドの基準価額も上昇しました。

SOMPOアルジェブリス・グローバル金融株式マザーファンド

期中の騰落率は+31.0%となりました。主要中央銀行による高金利環境などを背景に、金融株式が堅調に推移したことに加え、円安が進行したことなどがプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

項目	最終期 2023.10.3~2024.6.4		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	223円	1.338%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は16,642円です。
(投信会社)	(130)	(0.784)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(89)	(0.532)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	21	0.128	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(21)	(0.127)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	22	0.131	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(22)	(0.131)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	262	1.577	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(261)	(1.566)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.008)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	528	3.174	

注 1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

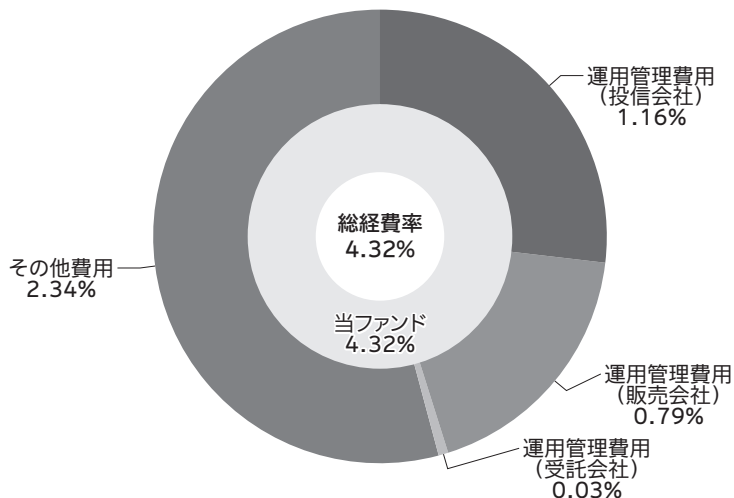
注 2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注 3. 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は4.32%**です。



1
万
口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

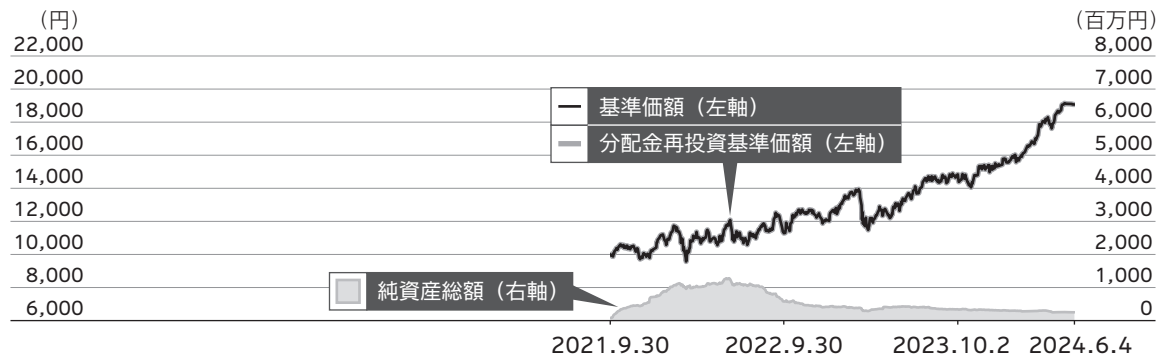
注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2018.10.1～2024.6.4



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場している金融機関の株式（DR（預託証券）等を含みます。）に分散投資を行います。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日		2021.9.30 設定時	2022.9.30 決算日	2023.10.2 決算日	2024.6.4 償還時
基準（償還）価額	(円)	10,000	11,288	14,839	19,065.58
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	—
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	12.9	31.5	28.5
純資産総額	(百万円)	81	577	342	251

● 投資環境

○株式市場

2023年10月は、中東地域の紛争拡大や米国長期金利の上昇を背景に、株式市場は下落しました。11月に入りFRB（米連邦準備理事会）の金融政策の転換に対する期待が高まり、米国金利が低下に転じる中、株式市場は上昇しました。12月は、FOMC（米連邦公開市場委員会）において、2024年の政策金利の見通しが引き下げられ、利下げ議論が開始されたことを受け米国金利が低下し、株式市場は上昇しました。2024年1月に入り、FRB高官が早期利下げの織り込みを牽制する発言から米国金利は上昇しましたが、株式市場は堅調な決算発表等を好感し底堅く推移しました。2月はFRBの利下げへの継続的な期待を背景に株式市場は上昇し、3月は複数の米国経済指標が予想よりも強い景気を示唆する中、米国長期金利が上昇しましたが、FRB議長が改めて年内利下げの可能性を示し、投資家心理の改善から株式市場は上昇しました。4月は、市場予想を上回る米労働市場の強さが示された他、FRB高官による利下げに対する慎重発言が相次ぎ、米国長期金利が上昇し、株式市場は下落しました。5月は、市場予想を下回る米国経済指標を背景に政策金利引き下げ期待が高まったことなどから株式市場は上昇しました。

○為替市場

ドル円相場は、2023年12月にかけて米国利下げ期待が高まったことなどから、円高ドル安基調となりました。2024年1月以降も日米金利が主な材料となり、日銀の金融政策正常化観測が醸成される一方、米国の利下げ先送り観測が台頭する中、円安ドル高が進行し、4月に一時1ドル160円台となりました。その後、日本当局の為替介入もあり円高ドル安局面となりましたが、5月後半には米国金利が反発する中、再度円安ドル高基調となりました。

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通してS O M P Oアルジェブリス・グローバル金融株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。その後、当ファンドの繰上償還に向けて、マザーファンドを全売却しました。



S O M P Oアルジェブリス・グローバル金融株式マザーファンド

期を通して株式および外国投資証券の組入比率を高位に維持した後、当ファンドの繰上償還に向けて、キャッシュ化を進めました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場している金融機関の株式（DR（預託証券）等を含みます。）に分散投資を行います。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

該当事項はありません。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

※設定来の運用経過については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<償還を迎えて>

当ファンドは、2024年6月4日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただくこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

● お知らせ

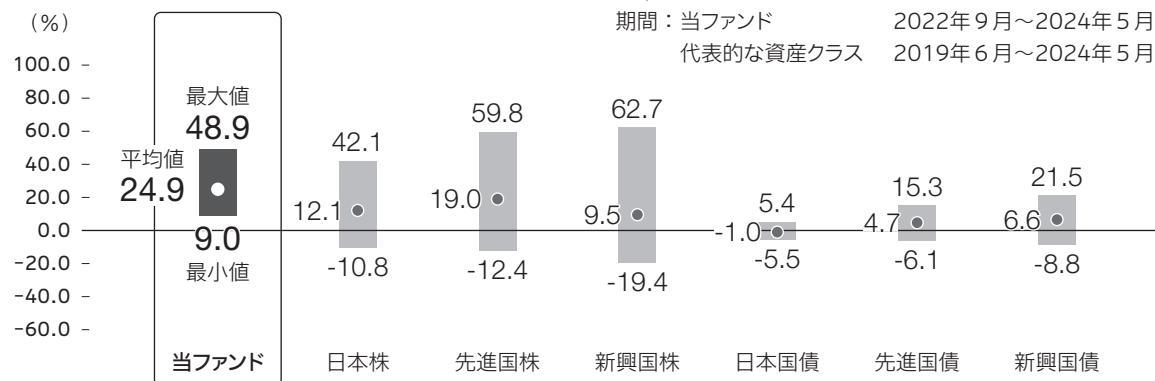
信託期間を無期限に変更するため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2023年12月29日）。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2021年9月30日から2024年6月4日まで（当初、2031年9月30日まででしたが、2023年12月末に無期限化していました。）
運用方針	信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	 SOMPOアルジェブリス・グローバル金融株式ファンド（円ヘッジなし） SOMPOアルジェブリス・グローバル金融株式マザーファンド受益証券  SOMPOアルジェブリス・グローバル金融株式マザーファンド 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している金融機関の株式
運用方法	① SOMPOアルジェブリス・グローバル金融株式マザーファンド（以下「親投資信託」といいます。）受益証券を通じて、主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場している金融機関の株式（DR（預託証券）等を含みます。）に分散投資を行います。 ② 親投資信託の組入比率は、原則として高位を基本とします。 ③ 親投資信託における株式等の運用指図に関する権限をアルジェブリス・インベストメンツ（US）インクに委託します。 ④ 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

① 当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は11ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

償還時における組入ファンドはありません。

※ 組み入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還運用報告書（全体版）に記載しております。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は償還時における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	償還時 2024.6.4
純資産総額	251,527,477円
受益権総口数	131,927,518口
1 万口当たり償還価額	19,065円58銭

※ 当期中における追加設定元本額は11,399,273円、同解約元本額は110,233,285円です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

SOMPOアルジェブリス・グローバル金融株式ファンド（円ヘッジなし）

検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/7048/sales.html>



各書類の最新版をご確認いただけます。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

運全

運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。